



心も体も大きく成長した11月

早いもので今年もあと1か月あまりとなりました。月日の流れを早く感じるのは私だけでしょうか。

この一年を通して、子ども達は大きく成長しました。自分の思いを言葉にして伝えたり、一人で考え制作したり、友達も増え一緒に遊んだりするなど、できることが少しずつ増えてきました。子どもの成長には本当に驚かされます。さて、今月は楽しい行事がいくつかありましたので紹介いたします。

<芋ほり>

3～5歳児による芋ほり。地域の畑名人の方の力を借りながら水やりをしたり、草取りをしたりして大切に育ててきました。当日は土の中にある芋はどのくらい大きくなっているのかわくわくドキドキしながら土を掘ってみました。すると、大きな芋がごろごろ出てきました。その様子を見ていた未満児もびっくり。子どもたちは歓声を上げながら芋ほりを楽しみました。



<防災教育>

3・4歳児を対象とした「楽しみながら学ぶ防災教育」を実施しました。講師に清流の国ぎふ防災・減災センターの村岡治道先生を招き、模擬地震体験を行いました。さらに、地震が起きた時、どんな姿勢がよいのか、どこが安全な場所かを子どもなりに知恵を働かせ、机の下が一番安全であることや、窓ガラスの近くは割れると危険であること、天井の蛍光灯は落ちてくる可能性があることに気づきました。一番驚いたのは、Jアラートの音を聞いた瞬間、ダンゴムシのポーズで身を守ろうとしました。日頃の命を守る訓練が身に付いていることを実感しました。保護者会によるサポートは、子どもたちに安心と笑顔を与えてとても助かりました。



<架け橋期によるDVD撮影>

文部科学省の指定を受け北方町は、幼児期と小学校をつなぐ「幼保小の架け橋プログラム」の取組に力を入れています。岐阜県教育委員会は、当日の取組の様子をDVD撮影し、岐阜県内の保護者向け啓発動画として制作する予定です。年長児と1年生は、遊びを通して様々な交流をしてきましたが、今回は年長児が制作した「あお・みどりジャングル」



に1年生を招待し、年長児による手作りゲームでいっしょに遊びました。年長児にとってこうした交流が自信となり、自己肯定感を高め小学校とのスムーズな接続につながっていくものと考えております。これからも定期的に交流を続け、小学校生活に夢や希望がもてるよう働きかけていきます。

<家族ふれあい参観>

11月16日(土)、本巣市レクリエーション協会理事の若松秀樹先生を講師に招き、親子で楽しみながら運動に汗を流しました。短い時間でしたが子どもたちは家族の方といっしょに運動できるので大喜び。また家族の方もお子さんといっしょに体をほぐしながらリフレッシュ。楽しい時間となりました。



ご多用の中、ご協力いただきありがとうございます。

<命の大切さと思いやりの心を学ぶ>

11月25日(月)、岐阜県人権擁護委員さんによる大型絵本の読み聞かせや、人権キャラクターのまもるくんとあゆみちゃんとの触れ合いを通して、友だちに優しく接していこうとする気持ちや、自分も相手も「かけがえのない一人ひとり」であることを楽しく学ぶことができました。

